

2023 年度（2024 年 3 月期）中間決算説明会

2023 年 11 月 10 日（金）13：00-14：00 WEB 開催（SMB C 日興証券 新丸の内ビルディング）

出席者：14 名

## 主な質疑・応答

回答者：

代表取締役社長執行役員 福井 正一

### 1) 原材料費・エネルギー費・円高の影響を受け、更なる値上げの可能性はあるのでしょうか？

直近では 2023 年 8 月にカスピ海ヨーグルトの値上げを実施し、9 月にはデザート製品のフルーツセラピーの値上げを実施いたしました。主力の昆布製品・豆製品・惣菜製品については、2022 年度の 6 月・3 月・2023 年度の 6 月に、内容量の減量及び販売価格に転嫁させていただき、段階的に値上げを実施いたしました。ただし、既に実施した値上げでは十分ではないと認識しております。まだまだ原材料費の上昇は続く予想されておりますし、為替も依然として円安傾向が継続しており、海外原料価格に影響しております。幸いにも、エネルギー費用については、足元は一定の水準を保っており落ち着きをみせておりますが、来年以降の価格動向については不明瞭な部分を残しております。また、来年度への影響については、原材料費高騰の影響だけで 2 億円から 3 億円のコストアップが見込まれております。このコストアップのカバー策については、固定費のコストダウン、値上げ、トップラインを伸長させることによる限界利益の増加を考えておりますが、安易な値上げは物量減を招く可能性もございますので、値上げを実施する場合は、「高品質の材料を使用する」、「賞味期限を延長する」等の価値向上を伴ったりリニューアルとセットで実施したいと思っております。また、品群別におかれている状況を考慮しながら、コストダウン・トップライン伸長・値上げをミックスして最善策を実施していきたいと考えております。

### 2) 為替の影響はあるのでしょうか？

当社の原料全体のうち、約 20%が海外産の輸入原料となっております。総額約 200 億円の原材料費ですので、為替の状況によって数億円程度の影響を受けることも想定されます。為替が業績に与える影響は小さくないので、これ以上の円安傾向は避けたいですし、これ以上円安にならないようにただ願うばかりです。

以上